

茜 あかねぐも 雲



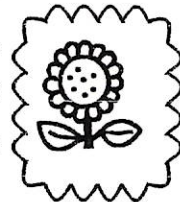
令和 4年

4月26日(火)

【No. 6】

『未来へのタネを蒔こう！』

ゴールデンウィークが間近に迫ってきましたが、今週になって気温がグンと上昇してきました。これから、だんだんと夏に近づいていきます。これからの季節は、急な温度の変化に体がついていけず、体調を崩してしまう人が多くなります。コロナ対策はもちろんですが、熱中症にも十分注意をして生活していきましょう。



長い休みが明けるとすぐ、5月12日には中間考査があります。それが終わると、2つの大きな行事が待ち受けています。それは、『運動会』と『修学旅行』ですね。このままコロナ感染をしっかりと抑えていき、必ずや実現できるようにしていきましょう。

さて先週は、今年度の『運動会』の内容が発表されました。3年生は、昨年と同じ「全員リレー」、学年種目としてクラス全員で跳ぶ「大縄跳び」、そしてもう一つ、3年生全員で演じる「ソーラン節」の3つに出場します。まだまだ、ひばり中の本来の形とは言えませんが、昨年までと比べるとかなりみなさんの活躍の場が増えてきました。とても喜ばしいことです。特に、今年は「ソーラン節」を復活させられるとは…。

先週の保健体育の授業で、“ばり中ソーラン”について、これまでの歴史や代々の先輩たちの思いを知りました。数年前のソーランの様子を体育館のスクリーンで見せてもらいましたが、“圧巻”の一言でした。ビデオは遠くから映した映像でしたが、その迫力や演者の一人一人の息遣いまで、ビンビン伝わってきたのではないのでしょうか。でも、あれはどこか遠くの知らない学校の演技ではないのです。私たちの学校、ひばりが丘中学校のほんの数年前の姿なのです。コロナ禍がなければ、みなさんも1年生の運動会から、あの中で一緒に踊っていたはずなのに…本当に残念でなりません。

このままでは、せっかくの伝統が途絶えたままになってしまうのは必至です。何もしなければ何も変わりませんね。でも、いきなりあのような「ソーラン節」を、まったく経験のない全校生徒で演じるのは不可能でしょう…。だからこそ、みなさんたち“3年生”の出番なのです。今年、3年生だけでも素晴らしい「ソーラン節」を創り上げることができれば、その蒔いた種を後輩たちが育てて、きっとまたあのような“ばり中ソーラン”を花開かせてくれるはずです。3年生の肩にかかる期待は非常に大きいですが、実行委員たちも張り切ってくれています。ぜひ、みんなの手で未来への種をしっかりと蒔いていきましょう。いつしか立派に開くはずの、大輪を夢見て…。

【令和4年度ソーラン節実行委員】

A組	／
B組	／
C組	／
D組	／

④「やる気マンマンの頼りがいのあるメンバーじゃな！みんなで力を合わせるでござるぞ」

いままで2年間の学校生活の集大成として、ソーラン節を成功させて、中学校の最高の思い出になるようにがんばりましょう。 A組	全員が思い切り楽しんで運動会を終えられるように、そして最初で最後のソーラン節が大成功できるように精一杯頑張るので、悔いの残らないようにしましょう!! (A組)
自分たちで自分たちのソーラン節をつくり、新たな伝統をつくり、いきましょう。 また、そのためにできることをしましょう。 B組	B組 今年の運動会のソーラン節はコロナで二年間、ソーラン節を行うことができませんでした。そのため、今年のソーラン節は「伝統を新たに作る」という目標をむねに三年生全員で頑張っていきたいと思っています。
時間の関係で、かなり大変な練習になってしまい申し訳ないですが、がんばってひばり中の新しいソーラン節を作りたいと思います。 ご協力をお願いします。 C組	新しいソーラン節をこの学年で作り上げられるように、全力でがんばります! 環境も授業も天候も不安定のこの状況でどんなソーラン節が生まれるのかとても楽しみです。練習はかきつめています、その中で最高のソーラン節にしましょう!! (C組)
終わった時に悔いが残らないように全力で取り組みましょう!! D組	D組 みんなと力を合わせて、自分達だけの「ぼり中ソーラン」をつくり、大切な思い出になるように、実行委員として頑張ります。